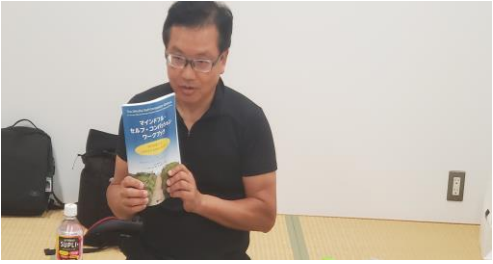


那覇市長 宛		令和 2024 年 9 月 18 日	
		団体名:キャンサー・グリーフおきな和	
		代表者：島袋百代	
		担当者：崎枝久美 新垣成美	
「なは市民活動支援事業」			
中間報告書			
令和 6 年 5 月 15 日付け、那覇市指令市ま第 693 号で交付決定の通知を受けた当該事業について、現時点での進捗を下記のとおり報告します。また、市ホームページへの掲載を承認し、中間報告会で他団体とも内容を共有します。			
1.事業名	がんで大切な人を亡くした方（遺族）への支援事業		
2.実施内容	（何をいつ実施したか(事務局会議は除く)、対象者や実施場所など） 1. 第1回遺族会「おもいを紡ぐ会」開催：日時；2024年5月19日（日）14：00～16：00 対象者；がんのご遺族5名 場所；なは市民活動支援センター 2 階（和室）会議室 内容；がんのご遺族同志の茶話会、緩和ケア医師による「マインドフルネス」実践講習 2. 第2回遺族会「おもいを紡ぐ会」開催：日時；2024年8月25日（日）14：00～16：00 対象者；がんのご遺族4名 場所；なは市民活動支援センター 3 階会議室 3. 新聞記事掲載による県民への周知：2024年6月4日（火）琉球新報（9）生活に掲載		
3.事業を一言で表現すると	（例：生活困窮世帯に食糧を配布することで、対象者が安定して食事が取れるように支援する。） がんで大切な人を亡くした方が共に集まり語り合い、気持ちを分かち合う場を作成することで気持ちを安定させ、安らぎのある生活を送ることができるようにする。		
4.これまでの活動の振り返り	【良かった点】 ・「おもいを紡ぐ会」に参加されたご遺族から、「どうしてよいか分からない気持ちを出せる場所があり、一人ではないと感じた」など思いを表出することができたと感想が寄せられた。 ・遺族より「気持ちが楽になった」「話せる場所があって嬉しい」「同じ気持ちの人がいる、良かった」などの感想が聞かれた。 ・医療機関にちらしを配布し、会の存在を周知できた。そのことがきっかけとなり、他のグリーフの団体と繋がることできた。 ・助成金の交付をいただき、事業を遂行させる上で必要な場所・費用の負担感がなくなり、運用がスムーズとなった。	【改善点・今後につなげる点】 ・団体の存在を医療機関だけではなく沖縄県内に広く周知し、グリーフケアの重要性を拡大させていきたい。→ SNSの活用など ・茶話会だけではなく、遺族に役立つミニレクチャーも必要だと感じている（例：マインドフルネスやアロマセラピー、など）	
5.今後の活動予定 （事業期間内又はすでに終了した団体については次の予定）	（何をいつ実施するか、対象者や実施場所、など） ・遺族アンケートの集計・分析 ・遺族会「おもいを紡ぐ会」第3回（11月）、第4回（1月）に開催予定。11月の開催に関しては、がん患者チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ」の会場にて開催予定。 ・「マインドフルネス」の開催（ミニレクチャー） ・ラジオ局に出演：10月または11月にFMレキオに出演予定 ・新聞コラム「こころの扉を開いたら」6回掲載予定（2025年1月～6月）まで。 ・SNS：Facebook、Instagram、LINE公式アカウント作成予定。 ・団体ロゴ作成中。完成後ポロシャツ、横断幕、幟作成予定。		

6.活動写真 (簡単な説明文を記入)	 (第1回「おもいを紡ぐ会」開催の様子)	 (「マインドフルネス」実践講演中)
	 (第2回「おもいを紡ぐ会」のちらし)	 (第2回「おもいを紡ぐ会」開催の様子)
7.今回の達成目標 (当初の事業計画書に記載した目標)	・遺族が、気持ちが楽になったと言語化できる 60%以上 ・おもいを紡ぐ会を4回/年開催 ・講座を1回/年開催 ・ラジオ局3カ所に出演 ・SNS発信を1回/月 ・新聞コラム・登壇への投稿	
8.現時点の目標達成度 (例: 60%達成)	40%達成	

* 9月20日(金) 提出

* 提出方法: メールにて提出

* 提出いただいた中間報告書は、ホームページにそのまま掲載予定です。枠を広げて構いませんが、2ページに収まるように記入してください。

* 中間報告書は、報告会で参加者に配布予定です。この報告書をもとに発表していただいても構いません。